

★日比谷音楽祭 presents 指揮者・平井秀明プロデュース“みんなで楽しむ、クラシック！”

～出演アーティスト・プロフィール～

平井 秀明（指揮者・作曲家） Hideaki HIRAI, Conductor/Composer

幼少よりチェロを父平井丈一朗に、ピアノと作曲を祖父平井康三郎に師事。桐朋高校を経て、米国ロチェスター大学政治学科卒業。イーストマン音楽院、ジョンズ・ホプキンス大学ピーボディ音楽院、ヤナーチェク音楽院ほかで、指揮法をD. エフロン、F. プラウスニツ、O. トゥルフリーク、サー・コリン・デイヴィスの各氏に師事。



1992 年、ワシントンの若手演奏家からなるキャピタル交響楽団を結成し音楽監督に就任し、ヴァージニア州オークニー・スプリングスにて国際音楽祭を主宰。1995 年、チェコのカルロビ・ヴァリ響を指揮し、ヨーロッパ・デビュー。1997 年第6回フラデツ・クラロベ国際指揮者コンクール(チェコ)で第1位。2000 年、ヤナーチェク・フィル定演にデビュー。2003 年にはロンドン公演、「第 12 回ヤング・プラハ音楽祭」(ドヴォルザーク・ホール)にも客演指揮し聴衆の熱狂的歓迎を受けた。

東京フィル、新日本フィルをはじめ殆どの国内主要楽団に度々客演する一方、オペラ指揮者としても「椿姫」、「蝶々夫人」、「ラ・ボエーム」、「カルメン」等を指揮、2003 年新国立劇場小劇場「イタリアのモーツァルト」公演でデビュー、引き続き「フィガロの結婚」(大劇場)、「セルセ」(小劇場)を指揮し各方面より絶賛された。自作オペラ三部作の『かぐや姫』、『小町百年の恋』(「第 23 回国民文化祭・いばらき 2008」委嘱)、『白狐』(公益財団法人妙高文化振興事業団委嘱)はザルツブルク、プラハ、豪州など内外で 50 回以上再演を重ね、2015 年 8 月、『かぐや姫』ロサンゼルス公演で大成功を収めた。

2010 年、チェコ・ヴィルトウオージ室内管弦楽団の首席客演指揮者に就任し、チェコ国立ブルノ歌劇場モーツァルト・ホール定演を指揮するほか、2012 年、ウィーン国立歌劇場で鮮烈な指揮デビューを飾り、2013 年にも同歌劇場に再登場。さらに、同年 12 月には米国カーネギーホール指揮デビューで圧倒的成功を収め、直ちに 2014～15 シーズンより、ニューヨーク祝祭管弦楽団音楽監督に就任。2014 年、名門ソフィア・シンフォニエッタにデビュー、2016 年プレヴェン・フィル定演を指揮していずれも大成功を収めた。

2017 年 5 月、ウィーン・クラング・アンサンブルの招聘により、殿堂ウィーン・コンツェルトハウス指揮デビューで成功を収め、楽団員全員一致で、2017～18 シーズンより、同楽団の首席客演指揮者に就任。同年 10 月、バチカン市国サン・ピエトロ大聖堂公式ミサにて自作アヴェ・マリアの演奏、並びに、ローマ法王およびバチカン市国への作品献呈を許可されたほか、ローマ・トレ管弦楽団シーズン開幕定期演奏会デビューを飾り、2019 年 5 月にはロッシェニ歌劇場デビューが決定するなど、国際的に著しい活躍をしている。

子ども育成音楽プロジェクト“こどおん”理事長、平井秀明オペラ合唱団・妙高白狐倶楽部合唱団・福井「かぐや姫」合唱団・「とんぼのめがね」合唱団・同児童合唱団の音楽監督・指揮者、2017 年 11 月より代々木の森「リプロホール」アーティストック・アドヴァイザーとして、教育、若手アーティスト育成、オペラ普及活動に積極的に力を注ぐほか、幅広い活動が大きな注目を集めている。

<https://www.hideaki-hirai.com>

～ オペラ『かぐや姫』（作曲・台本：平井秀明）ハイライト公演 ～
《キャスト紹介》

嘉目 真木子（ソプラノ） Makiko YOSHIME, Soprano

～かぐや姫役～

大分県出身。国立音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。第 51 期二期会オペラ研修所修了。2013 年より文化庁派遣新進芸術家海外研修員として伊フィレンツェへ留学。声楽を宮本 修、小笠原茂子、久岡 昇、スザンナ・リガッチの諸氏に師事。



10 年東京二期会《魔笛》パミーナ役で本格的にオペラデビュー。続いて 11 年、《フィガロの結婚》スザンナ、《ドン・ジョヴァンニ》ツェルリーナがいずれも好評を博す。12 年《パリアッチ》ネッダ役でも 見事な演唱が絶賛を博した。15 年には、東京二期会《魔笛》(オーストリア・リンツ州立歌劇場共同制作/ 宮本亜門演出)のパミーナなど話題の公演に出演。16 年には NHK ニューイヤーオペラコンサートに初出演、7 月には東京二期会《フィガロの結婚》(サッシャ・ゲツェル指揮/宮本亜門演出)スザンナ役で再び出演し好評を博す。18 年には《金閣寺》のフランス 初演にて女役で欧州デビュー。本年 2 月には同作(マキシム・パスカル 指揮/宮本亜門演出)に有為子、女両役で出演し、好評を博した。

そのほか、モーツァルト《イドメネオ》エレットラ、《ドン・ジョヴァンニ》ドンナ・エルヴィーラ、《コジ・ファン・トゥッテ》フィオルディリージ、プッチーニ《ラ・ボエーム》ミミ、ヴェルディ《椿姫》ヴィオレッタ、平井秀明《かぐや姫》タイトルロールなどで活躍。

コンサートソリストとしても東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団等々の国内主要オーケストラとベートーヴェン《第九》、ハイドン《四季》、フォーレ《レクイエム》、エルガー《神の国》等で共演。

17 年、デビューアルバム「My favorite songs～わたしのお気に入り」(オクタヴィア・レコード)をリリース。トッパンホールには 17 年 4 月《ランチタイム コンサート》で初登場。

三浦 克次（バス・バリトン） Katsuji MIURA, Bass Baritone

～^{みかど}帝役～

明治大学法学部卒業後、東京声専音楽学校卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部在籍中に藤原歌劇団公演『仮面舞踏会』でデビューした後、国際ロータリー財団の留学生としてローマに留学。スルモーナ市立



歌劇場で『秘密の結婚』に出演。帰国後、藤原歌劇団と新国立劇場を中心に多数のオペラに出演。「エスカミーリョ」「ジェルモン」「シャープレス」「スカルピア」「ショナール」「ドウルカマーラ」「ファルスタッフ」などをレパートリーとしている。オペラ『かぐや姫』は 03 年の初演から、和光市・川崎市・浦安市・阿南市・キャンベラ・ロサンゼルスなど国内外で帝役を歌う。

宗教曲等のソリストとしてもバッハ『マタイ受難曲』、ヘンデル『メサイア』、ハイドン『天地創造』、モーツァルト、ドニゼッティ、ヴェルディ、フォーレの『レクイエム』、ロッシーニ、シューベルト、グノー、プッチーニのミサ曲、ベートーヴェン『第 9』(平井秀明指揮 カーネギーホールなど)、オルフ『カルミナ・ブラーナ』等を歌う。バステリアニーニ国際コンクール第 3 位。東急五島記念文化財団オペラ新人賞、ジロー・オペラ賞受賞。藤原歌劇団団員。昭和音楽大学、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部講師。千葉市在住。

<https://miura.music-web.info>

立花 敏弘 (バリトン) Toshihiro TACHIBANA, Baritone

おきな
～翁役～

国立音楽大学声楽学科卒業。'91年から'93年までミラノに留学。'97年1月熊本シティオペラ「運命の力」ドン・カルロ役で絶賛を博しオペラデビューを飾り、同年9月には「カルメン」モラレス役で藤原歌劇団本公演デビュー。新国立劇場には「椿姫」「カルメン」「ドン・カルロ」に出演。「ジャンニ・スキッキ」「スザンナの秘密」「電話」等では、抱腹絶倒の演技で客席を湧かせた。



一方ではスタジオの録音にも定評があり、ディズニー「ポカホンタス1」スミス、「眠れる森の美女」王子様の歌部分の吹き替え等がある。また、2015年にはロサンゼルスにて平井秀明作曲オペラ「かぐや姫」(翁役)、『14年と'16年にはイタリアにて「アイーダ」(アモナズロ役)に出演するなど海外にも演奏の場を広げている。藤原歌劇団団員。玉川大学非常勤講師。

但馬 由香 (メゾ・ソプラノ) Yuka TAJIMA, Mezzo Soprano

おきな
～姫役～

武蔵野音楽大学声楽科、同大学院声楽専攻修了。

藤原歌劇団入団後、オペラ公演『アルジェのイタリア女』にて森山京子、アグネス・バルツァ両氏のアンダースタディーとして起用され研鑽を積み、翌年同団公演オペラ『ラ・チェネントラ』(シンデレラ)にて姉ティーズベ役で本格的なオペラ・デビューを飾る。



その後も藤原オペラ公演『椿姫』アンニーナ役、『リゴレット』小姓役、『ランスへの旅』モデスティーナ役、『どろぼうかかさぎ』ピッポ役(日本初演)、『セヴィリアの理髪師』ベルタ役などに出演。2018年には同公演オペラ『ラ・チェネントラ』(シンデレラ)にて初の主演(シンデレラ役)、今春には『蝶々夫人』スズキ役を務め、好評を博す。オペラ『かぐや姫』は今回が4度目の出演となる。その他宗教曲ソリストとしても活躍。

2014年には藤原歌劇団のCD「Bravi! vol.2」(徳間ジャパンより発売中)に収録される。元武蔵野音楽大学附属音楽教室講師。第31回飯塚新人音楽コンクール第一位。藤原歌劇団団員。

<https://officefivelines.wixsite.com/opera>

橋本 恵史 (テノール/落語家) Keishi HASHIMOTO, Tenor ~ナレーター~

大阪音楽大学大学院歌曲研修室修了。ドイツ・ハンブルグ音楽院修了。在学中に歌劇「道化師」ペッペ役でデビュー。「魔笛」タミーノ役は国内外において30公演を数える他、「イル・カンピエツロ」ドナ・カーテ(女役)では絶賛を博し、「こうもり」フロッシュ役は、語り役でありながら複数の音楽雑誌に取り上げられるほど、そのレパートリーはバラエティに富んでおり、主役から脇役、女役から語り役までこなして



しまう貴重なテノール歌手である。

またオペラ・ミュージカルなどの舞台演出、新作の台本執筆、自作音楽劇の上演、新作歌曲の作詞作曲、コンサートの司会・構成など、その才能は止まるところを知らない。

2017年には六代 桂文枝に弟子入り。歌手と落語家の二足の草鞋を履いており「歌曲亭文十弁(ぶんどうべん)」としても活躍している。2013年より始まったコンサートシリーズ「橋本恵史のお楽しみ会」は、クラシック音楽の常識には捉われないコンサートスタイルで毎回ソールドアウトを記録。このコンサートの純益は全て、NPO 法人 World Music Project を通し、途上国の音楽教育発展のために充てられている。

<http://www.keishihashimoto.biz>

木村 裕平 (ピアノ) Yuhei KIMURA, Pianist

ブラジル・サンパウロ生まれ。ドイツ・デュッセルドルフに育つ。武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。2005年武蔵野日本の歌コンクール審査員伴奏特別賞受賞。現在、声楽・合唱のピアニストとしてコンサートをはじめレコーディングなど、また2009年錦織健プロデュースオペラをはじめ、多数オペラ団体のピアニスト(コレペティ)として意欲的な音楽活動を行っている。同年秋には、平井秀明作曲オペラ『小町百年の恋』東京初演に室内アンサンブル奏者として出演し、ダイナミックかつ繊細な演奏で好評を博した。



また、声楽家・新垣勉氏のコンサートピアニストとして、海外および全国各地でのコンサートやテレビ朝日《徹子の部屋》、TBS《NEWS23》、NHK《歌謡コンサート》、テレビ東京《レディス4》をはじめ、多数メディアにおいて共演している。2008年NHK全国学校音楽コンクールにて、星美学園聖歌隊専属ピアニストとして出演、約1000校の頂点となる全国大会一位金賞を受賞、さらに2011年にも再度金賞を受賞。また、「新浦安BBシンガーズ」の指導も行うなど、幅広く活躍中。これまでにピアノをF. Fischer、M. Amann、重松聡、伴奏法を服部容子の諸氏に師事。二期会オペラ研修所ピアニスト。日本合唱指揮者協会会員。

また、声楽家・新垣勉氏のコンサートピアニストとして、海外および全国各地でのコンサートやテレビ朝日《徹子の部屋》、TBS《NEWS23》、NHK《歌謡コンサート》、テレビ東京《レディス4》をはじめ、多数メディアにおいて共演している。2008年NHK全国学校音楽コンクールにて、星美学園聖歌隊専属ピアニストとして出演、約1000校の頂点となる全国大会一位金賞を受賞、さらに2011年にも再度金賞を受賞。また、「新浦安BBシンガーズ」の指導も行うなど、幅広く活躍中。これまでにピアノをF. Fischer、M. Amann、重松聡、伴奏法を服部容子の諸氏に師事。二期会オペラ研修所ピアニスト。日本合唱指揮者協会会員。

www.yuheikimura.com